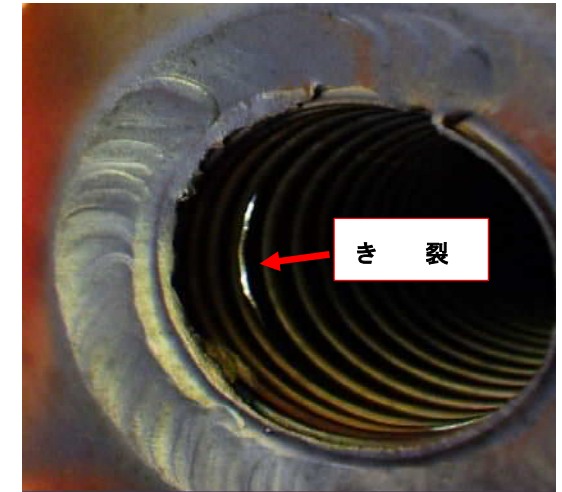


【攪拌洗浄設備 第1槽レベル計接続部から床面に洗浄剤の漏洩】【第2報・最終報】

- 発生日時：令和3年(2021年)10月21日 15時35分頃
- 発生場所：当初施設 攪拌洗浄エリア（管理区域レベル3）
- 公表区分：IV
  - ・環境への影響：なし
  - ・作業員への影響：なし

事象概要	発生原因	再発防止対策
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JESCO 職員が攪拌洗浄エリアで運転中の攪拌洗浄設備第1槽の液面レベル計フレキホース及びフランジ下の床面に液の滴下を確認。</li> <li>・ 攪拌洗浄設備第1槽について直ちに運転を停止し、槽内液の排液を実施。</li> <li>・ 当該フレキホースのフランジ部より洗浄剤が滴下していることを確認し、床面の滴下液の回収を実施。</li> <li>・ 滴下液の回収量は約 1.2L、レベル計内の洗浄剤の PCB 濃度は 263mg/kg であった。</li> <li>・ 当該フレキホース及びフランジを取り外し、内部の状況を確認したところ、フレキホースにき裂を確認。原因について外部検査機関に調査を委託した。（現在調査中。）</li> <li>・ 第2槽から第12槽については、外観の目視点検を実施し、異常がないことを確認済みであるが、同様の事象の発生の懸念があることから、現在攪拌洗浄設備全12槽の運転を停止中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当該フレキホース内面の蛇腹の一部にき裂があることを確認した。このき裂から洗浄剤が漏洩したと推測された。</li> <li>・ 取り外した当該フランジ・フレキホースの検査機関による調査の結果、ステンレス鋼の疲労破面に酷似した筋模様及びストライエーション状模様が観察された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10/27 の消防指導（「可撓管継手の設置等に関する運用基準」について指導）により、攪拌洗浄設備全槽のレベル計に繋がっているフレキホースについて運用基準に適合させ交換するよう、対策工事を実施した。</li> </ul> <p>水平展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 攪拌洗浄槽のレベル計には洗浄剤が通るフレキホースが2本あり、12槽分の24本について交換した。</li> <li>・ 攪拌洗浄エリア以外のエリアに設置されているフレキホースについて、点検を実施し、不具合があれば交換を実施していく。</li> </ul>

(状況写真や図面等)



対策工事前後写真

